



利根山光人

Toneyama Kojin

第91号 平成28年8月1日

記念美術館通信

Memorial Art Museum News Letter

〒024-0043 岩手県北上市立花 15-153-2

TEL/FAX 0197-65-1808

利根山光人記念美術館開館20周年記念 式典・祝賀会を開催しました

展勝地の一角に、利根山光人記念美術館が開館したのは平成8年4月、今年で20歳の節目を迎えました。それを記念し、平成28年6月18日に美術館常設展示室で「利根山光人記念美術館開館20周年記念式典」を開催しました。式典には利根山画伯の御夫人・彌恵子様をはじめ、画伯の知人であり写真家の田村祥男様、彌恵子様の教え子である有賀由紀子様、画伯の孫の尾崎健人様御夫妻、そして美術館友の会、光の会会員など多くの方に御出席頂きました。



式典会場の様子

彌恵子様に感謝状を贈呈する高橋市長



高橋敏彦北上市長は「世界的な画家である利根山画伯が北上市に果たしてくれた功績は大変大きい。全国の皆さんに北上市を知ってもらえる大きな機会を頂いたし、子ども達が身近に芸術と触れ合える機会を作って頂いた。」と話し、長年美術館を支え、今も貴重な作品を寄贈し続けて頂いている彌恵子様に感謝状を贈呈しました。

彌恵子様は「北上市は第二の故郷として大事に思っております。これからも主人の絵を通じて、末永くよろしくお願い致します。」と話し、懐かしそうに絵を見て回りました。

また、学校法人東京聖徳学園理事長・学長である川並弘純様と、駐日メキシコ合衆国大使のカルロス・アルマーダ様から祝電を頂き、大使からは「人間の根源的テーマに迫るヒューマニスト画家で、人々に感動を与えた画伯に敬意を表する。」とのメッセージを頂きました。

田村祥男様からは画伯との思い出が語られ、そして8月25日までの企画展で展示している「戦争」をテーマにした「ヒロシマシリーズ」の制作風景のDVD上映もあり、来場者は改めて画伯の偉大さと人柄を感じていました。



挨拶をする彌恵子様

式典後はホテルシティプラザ北上にて記念祝賀会を開催しました。

オープニングでは、会場全体がまるで美術館になったかのように、画伯の作品が壁一面に映像として写し出され、出席者からも感嘆の声が上がりました。

友の会会長の高橋喜一郎様、初代専任研究員の高橋大八様よりあいさつを頂き、画伯への思いをお話頂きました。そして、画伯が大好きだった北上市の民俗芸能である鬼剣舞を、岩手県立北上翔南高等学校鬼剣舞部が披露しました。

出席者は画伯を懐かしみながら、それぞれに画伯と美術館への想いを語り合っていました。



鬼剣舞を舞う北上翔南高校鬼剣舞部

美術館開館 20 周年を契機とし、今後さらに画伯の作品を多くの皆様に紹介し、そして美術館をより身近に感じて頂けるような事業を展開していきたいと思います。

近年、彌恵子様からは画伯の作品を数多く寄贈頂いており、北上市では現在約 350 点を所蔵しています。今後も企画展や移動展などで、画伯の情熱的で魅力ある作品を鑑賞して頂く機会を増やしていきます。

ぜひこれからも利根山光人記念美術館にお気軽に足をお運びください。多くの皆様の御来館お待ちしております。



美術館での彌恵子様

利根山光人記念美術館開館 20 周年記念 「利根山光人展」開催中

会期：8月25日(木)まで

場所：ホテルシティプラザ北上ロビー

美術館開館 20 周年を記念し、利根山光人画伯の作品展を開催しています。観覧料は無料で、会期中は展示替えも行います。画伯の情熱的で魅力ある作品を、ぜひお気軽に御覧ください。



— 「遺したい北上の風景画」 募集 —

利根山光人記念美術館通信では、皆様が描いた、または所有している「北上の風景画」作品を募集しています。応募いただいた作品は、今後の通信で紹介させていただきます。応募希望の方は、北上市まちづくり部生涯学習文化課芸術文化係（0197-72-8304）までお気軽にお問い合わせください。

発 行 北上市まちづくり部生涯学習文化課

〒024-0061 岩手県北上市大通り1-3-1 電話 0197-72-8304 FAX 0197-63-3121